

$x, y$  についての方程式

$$x^2 - 6xy + y^2 = 9 \quad \cdots (*)$$

に関する次の問いに答えよ.

- (1)  $x, y$  がともに正の整数であるような  $(*)$  の解のうち,  $y$  が最小であるものを求めよ.  
 (2) 数列  $a_1, a_2, a_3, \dots$  が漸化式

$$a_{n+2} - 6a_{n+1} + a_n = 0 \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

を満たすとする. このとき,  $(x, y) = (a_{n+1}, a_n)$  が  $(*)$  を満たすならば,

$(x, y) = (a_{n+2}, a_{n+1})$  も  $(*)$  を満たすことを示せ.

- (3)  $(*)$  の整数解  $(x, y)$  は無数に存在することを示せ.

(22 千葉大 7)

【答】

- (1)  $x = 18, y = 3$   
 (2) 略  
 (3) 略

【解答】

$$x^2 - 6xy + y^2 = 9 \quad \cdots (*)$$

- (1)  $(*)$  を  $x$  について解くと

$$x = 3y \pm \sqrt{8y^2 + 9}$$

である.  $y$  に正の整数を順次代入していく.

$y = 1$  のとき  $x = 3 \pm \sqrt{17}$   $x$  は無理数であり不適.

$y = 2$  のとき  $x = 6 \pm \sqrt{41}$   $x$  は無理数であり不適.

$y = 3$  のとき  $x = 9 \pm \sqrt{81} = 18, 0$   $x = 18$  は正の整数である.

以上より,  $x, y$  がともに正の整数であるような  $(*)$  の解のうち,  $y$  が最小であるものは

$$x = 18, y = 3 \quad \cdots (\text{答})$$

である.

- (2) 数列  $\{a_n\}$  が

$$a_{n+2} - 6a_{n+1} + a_n = 0 \quad (n \geq 1) \quad \cdots \textcircled{1}$$

を満たし, さらに  $(x, y) = (a_{n+1}, a_n)$  は  $(*)$  を満たすとき, すなわち, 数列  $\{a_n\}$  が

$$\textcircled{1} \text{ かつ } a_{n+1}^2 - 6a_{n+1}a_n + a_n^2 = 9 \quad \cdots \textcircled{2}$$

を満たすとき

$$\begin{aligned} & a_{n+2}^2 - 6a_{n+2}a_{n+1} + a_{n+1}^2 \\ &= (6a_{n+1} - a_n)^2 - 6(6a_{n+1} - a_n)a_{n+1} + a_{n+1}^2 \\ &= (36a_{n+1}^2 - 12a_{n+1}a_n + a_n^2) - (36a_{n+1}^2 - 6a_{n+1}a_n) + a_{n+1}^2 \\ &= a_{n+1}^2 - 6a_{n+1}a_n + a_n^2 \\ &= 9 \quad (\because \textcircled{2}) \end{aligned}$$

が成り立つ.

よって,  $(x, y) = (a_{n+2}, a_{n+1})$  も  $(*)$  を満たす.

$\cdots$  (証明終わり)

(3)  $(a_2, a_1) = (18, 3)$  とおくと,  $(a_2, a_1)$  は  $(*)$  を満たす. したがって

$$「a_1 = 3, a_2 = 18 \text{ かつ } \textcircled{1}」$$

を満たす数列  $\{a_n\}$  について, 各項  $a_n$  はすべて整数であり, (2) より整数の組  $(a_{n+1}, a_n)$  ( $n \geq 1$ ) はすべて  $(*)$  の整数解である.

次に, すべての自然数  $n$  について

$$「0 < a_n < a_{n+1}」 \cdots \cdots (**)$$

が成り立つことを数学的帰納法を用いて示す.

(i)  $n = 1$  のとき

$a_1 = 3, a_2 = 18$  であり,  $n = 1$  のとき  $(**)$  は成り立つ.

(ii)  $n = k$  での成立を仮定すると

$$\begin{aligned} a_{k+2} - a_{k+1} &= (6a_{k+1} - a_k) - a_{k+1} \\ &= 5a_{k+1} - a_k \\ &= 4a_{k+1} + (a_{k+1} - a_k) \\ &> 4 \cdot 1 + 0 \quad (\because \text{帰納法の仮定}) \\ &> 0 \end{aligned}$$

であり,  $n = k + 1$  のときも  $(**)$  は成り立つ.

以上 (i), (ii) より, すべての自然数  $n$  について  $(**)$  が成り立つ.

よって,  $(a_{n+1}, a_n)$  ( $n \geq 1$ ) はすべて  $(*)$  を満たし  $1 < a_1 < a_2 < a_3 < \cdots$  であるから,  $(*)$  の整数解  $(x, y)$  は無数に存在する.  $\cdots \cdots$  (証明終わり)